

第9回 家畜感染症学会学術集会開催案内

テーマ： 家畜を薬剤耐性から守る

日時： 2019年12月6日（金）、13:00～17:15（12:00受付開始）
7日（土）、9:00～16:30（8:30受付開始）

大会長： 鈴木 定彦（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター センター長）

会場： 北海道大学農学部大講堂（農学部本館4階）

〒060-0809 札幌市北区北9条西9丁目

<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/agr/>

参加費：【事前登録】 正会員 5,000円 賛助会員 5,000円 非会員 8,000円 学生 1,000円

【当日登録】 正会員 6,000円 賛助会員 6,000円 非会員 9,000円 学生 1,000円

事前登録締切：11月29日（金）

プログラム：

【2019年12月6日（金）、13:00～17:15】

1) 大会長挨拶：鈴木 定彦（北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター センター長）

2) 教育講演：

●獣医療や環境における薬剤耐性問題の実態とその対策

臼井 優（酪農学園大学）

3) 推奨研究：家畜生産現場における抗菌剤使用を考える

●牛呼吸器病（BRDC）における抗菌剤治療の実際～抗菌剤治療ガイドブックを読み解く～

加藤 敏英（酪農学園大学）

●牛乳房炎の診断と治療の考え方～薬剤耐性を考慮した効果的な治療法を模索して～

河合 一洋（麻布大学）

●養豚管理獣医師が目指す抗菌剤使用の対応

伊藤 貢（あかばね動物クリニック）

●養豚場における抗菌薬使用低減への取り組み

高橋 佐和子（高橋とんとん診療所）

●総合討論

4) 意見交換会：（18:00～20:00）

●サントリーズガーデン 昊（そら） <https://suntorysgarden-sora.owst.jp/>

参加費：4,500円

【2019年12月7日（土）、9:00～16:30】

1) 第8回学術集会最優秀学術賞紹介

●投薬方法と飼養環境の見直しによる養豚場の抗菌剤使用量低減

遠矢 良平（宮崎県農業共済組合）

2) 一般口演（発表8分、質疑4分）：

一般口演登録締切：11月1日（金）

3) ランチョンセミナー：

4) シンポジウム：牛の異常分娩と分娩事故による感染症を科学する

●子牛の感染症対策は分娩から

加藤 肇（北海道ひがし農業共済組合）

●牛の分娩に伴う子宮内および腔内感染 - その病態が受胎性に及ぼす影響

大澤 健司（宮崎大学）

●子牛が病気になる前に～今日から現場でできること～

宿澤 光世（根室農業改良普及センター）

●総合討論

5) 2018年度学会活動報告：

6) 第9回学術集会最優秀学術賞発表ならびに表彰式：

7) 閉会挨拶：加藤 敏英（家畜感染症学会会長、酪農学園大）